



VIA HOLDINGS INC.

株式会社 ヴィア・ホールディングス 第77期 事業報告書

2012年4月1日～2013年3月31日



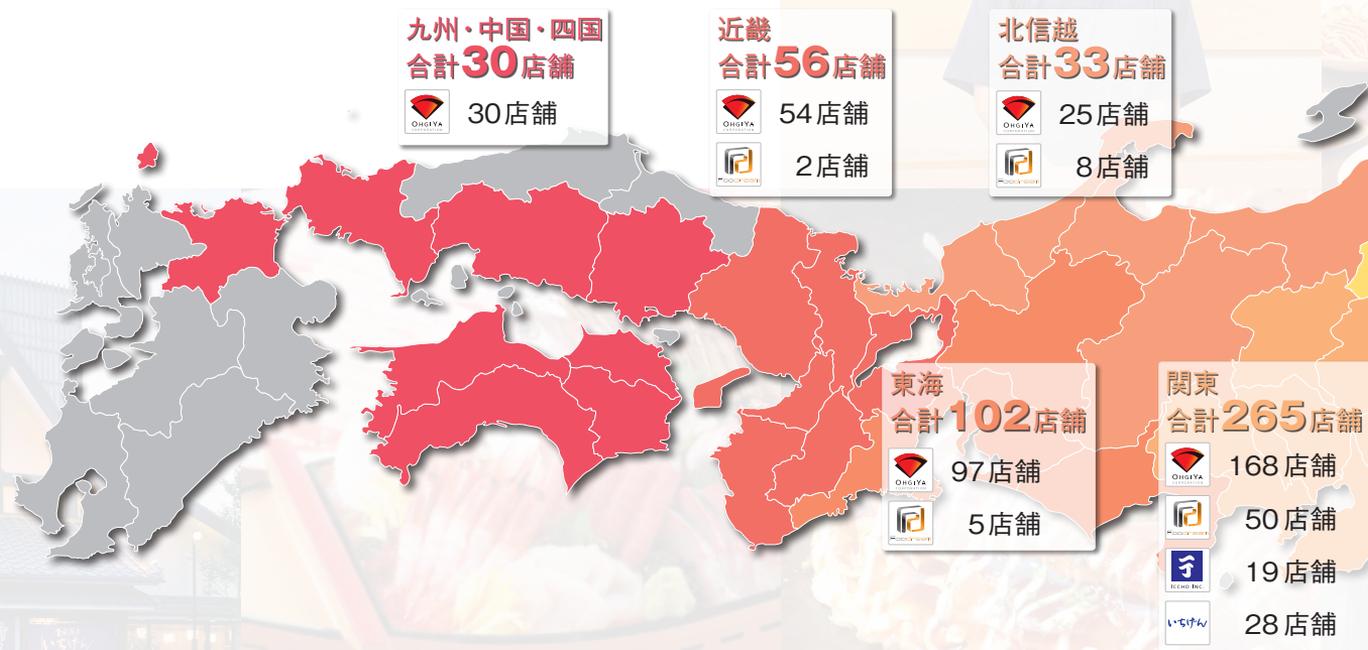
お客様の喜びと感動を創造するヴィア・グループ

私たちの想いは、日本全国に広がっています

当社グループは、2001年9月に焼き鳥居酒屋のフランチャイズ店をスタートしてから、
現在では、多種・多様な外食サービス事業ネットワークを創り上げ、店舗数も518店まで拡大してきました。

その原動力となったのは、お客様の満足・笑顔を創りたいと願う想いからです。

今後も「心が響きあう価値の創造」を経営理念とし、お客様の「心のニーズ」に応え、喜びと感動に満ちた
新しい価値のイノベーションに果敢に取り組み、お客様、株主の皆様、お取引先様、そして従業員など、
すべてのステークホルダーから信頼される企業を目指していきます。



ます。

北海道
合計9店舗

 6店舗

 3店舗

東北
合計23店舗

 14店舗

 9店舗

▶518店舗



VIA HOLDINGS INC.
株式会社 ヴィア・ホールディングス

株式会社
ヴィア・ホールディングス

(純粋持株会社)



OHGIYA
CORPORATION

株式会社 扇屋コーポレーション…………… 394店舗

備長扇屋/本陣串や/やきとりの八扇/ぼちぼち/紅とん



Foodream

株式会社 フードリーム…………… 74店舗

オープン亭/双囀亭/BELLA BELLA/カプチーナ/虎包/
シェンズバーグ/ノリータ/ビバリー/菜豚/OCEAN GRILL TOKYO/欧聞亭



ICCHO INC.

株式会社 一丁…………… 22店舗

うおや一丁

いちげん

株式会社 一源…………… 28店舗

いちげん/とりげん/串げん

(2013年6月30日現在)

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日ごろより格別のご厚情を賜り心より厚く御礼申し上げます。

2013年3月期(第77期)の事業の概況について

当期は、輸出や設備投資が伸び悩んだことなどから、景気は先行きが不透明な状況が続きました。一方で、2012年12月の政権交代を契機として、新政権による経済対策や金融政策への期待などを背景に円安・株高が進み、企業収益や雇用状況に改善の兆しがみられるなど、景気回

復への期待感が高まっております。私どもの中核事業である外食業界においては、長引くデフレ経済下における低価格志向のなか、依然として熾烈な競争状態が続き、厳しい経営環境となりました。

こうしたなか私どもでは、外食サービス事業において、「既存事業のバリューアップによる基礎収益力の向上」「本部機能の集中化による価値競争力の向上」「内部統制の推進によるマネジメント力の向上」の3つを基本戦略として推進しました。売上拡大策として、厳格な出店基準に基づく新規出店や、店舗を取り巻く個々のマーケットの変化に対

応するためのリニューアル、店舗オペレーションのブラッシュアップによる付加価値の向上に取り組むと同時に、継続的なコスト削減策として、企業規模を活かした購買単価の見直し、本部コストの低減、店舗労働時間の適正化など、販管費の圧縮に努めました。

以上の結果、当期の売上高は28,348百万円(前期比4.8%減)、営業利益は1,420百万円(前期比3.2%増)、経常利益は1,004百万円(前期比8.3%減)、当期純利益は913百万円(前期比2,453百万円増)となりました。特に、営業利益が2期連続で過去最高益を更新することができましたことは、ひとえにお客様のご支持と、株主様をはじめとした多くの皆様のご支援のお陰と受けとめております。誠にありがとうございました。

今期の見通しについて

2014年3月期(第78期)を迎えるにあたり私どもでは、将来を見据えた中期経営計画「Dynamic Challenge 500」を策定し、スタートさせています。この中期経営計画のもと、以前より取り組んでいる「収益体質の改善」、「魅力あるコンセプトと商品の提案」、そして外食サービスの概念的価値を表すQSCA(Qualityクオリティ、Serviceサービス、Cleanlinessクレンリネス、Atmosphereアトモスフィアの頭文字)をいっそう強化し、業態のリモデルといった磨き込みとともに既存店の売上回復を目指します。新規出店投資については、厳選した立地に「備長扇屋」を中心として15店前後の出店を計画しています。また、リニューアル投資についても投資回収基準を定め、収益の拡大が見込める店舗からプライオリティ管理に沿って投資を行っ

ていく考えです。

印刷流通事業については、この4月に子会社である暁印刷の全株式を譲渡したため、連結対象から外れることとなりました。この影響により、今期において子会社売却益597百万円の特別利益を計上する見通しです。

株主の皆様への利益還元について

私どもは、株主の皆様への直接的な利益還元として、業績をふまえた配当を重要な経営課題の一つに位置づけています。第77期においては、自己資本の充実が望まれる状況のなかで経営環境を総合的に勘案いたしました結果、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。何卒ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

また最後に、ヴィア・グループは子会社である暁印刷の株式譲渡により、名実ともに外食サービス事業で構成される企業集団となりました。今後は、創業会社である暁印刷への感謝も含め、新しい価値を創造できる人財集団としてフードサービスのバリュー・リーダーを目指す所存です。可能な限り早期に、普通株式の継続的かつ安定的な配当を実施できるように努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長

代表取締役社長

横川紀夫 大場典彦



「ヴィア・グループの 新しい明日を創るために!」

Q 直近2年間は、収益構造の大改革に取り組まれています。トップマネジメントとしてその取組施策と評価をお聞かせください。

A 2013年3月期のグループ連結業績は、売上高283億4千万円、営業利益14億2千万円を計上することができました。特に、営業利益については2期連続で過去最高益です。大変喜ばしい結果ですが、ここに至るまでの2年余りの道のりは決して平坦なものではありま

せんでした。東日本大震災が発生したとき、すでに2期連続の最終赤字であった当社グループは、この大震災の影響により、黒字決算を目前にして一転、3期連続の最終赤字となり、非常に危機的な局面と向き合わざるを得なくなりました。収益構造の大転換とマネジメント改革が待たなしの状況下、不採算である業態の整理と店舗の完全撤退、店舗オペレーションの改善、本社コストの圧縮、賃料の引き下げから仕入コストの削減まで、徹底して損益分岐点の引

ヴィア・グループの直近2年間の取り組み

- ① 不採算業態の整理・不採算店舗の撤退
 - ② 店舗オペレーションの改善
 - ③ 店舗設備コストの引き下げ
 - ④ 本社コストの圧縮
 - ⑤ 食材や消耗品などの仕入れコスト削減
 - ⑥ 「備長扇屋」を中心とした限定的な新規出店
 - ⑦ 店舗リニューアルによる既存店の売上回復
- etc.

き下げに全力で取り組みました。また、新規出店は、主力である「備長扇屋」を中心に限定的な投資にとどめる一方で、既存店を積極的にリニューアルしてきています。この2期連続の最高益の更新は、こうした一つひとつの施策の積み重ねと、役職員が一体となって事業改革に臨んだ成果です。

Q この5月に発表された中期経営計画「Dynamic Challenge 500 ～新たな成長で、新たなステージへ～」について解説をお願いします。

A 「Dynamic Challenge 500 ～新たな成長で、新たなステージへ～」と名づけた中期経営計

5年後(2018年3月期)の3つの数値目標

「グループ売上高 500億円の達成」

フランチャイズ店を含めた518店舗の既存店において、前期の売上高を0.1%でも超えること。これに、既存業態の新規出店やM&Aなどを組み合わせて、全体で年率20%の成長を目指す。

「グループ店舗数 1,000店の達成」

1業態50店舗を1つの戦略的単位として編成し、従来にない最強のローカル・チェーンの集合体を構築する。全国一律的なナショナル・チェーン形式ではなく、「商品・営業・人事」の主要施策を各地域に根差した形で展開する。

「グループ営業利益 38億円の達成」

今後5年間は、每期営業利益の最高益更新に挑戦していく。既存店の売上に、新店の新しい売上に積極的に加えながら、現状4.9%の営業利益率を7.5%まで伸長させる。

画。私たちのこの計画は、将来の確かな成長を導き出すために、「投資・コスト・利益・売上」という経営要素を、まったく新しい優先順位で組み立て直しています。具体的には3つの数値目標を掲げており、この数値目標をクリアし実績を積み重ねていくことによって、皆様からの信用と信頼を勝ち得たいと考えています。

Q その数値目標を確実にクリアしていくうえで、具体的な戦略を定めていますか？

経営環境をふまえたお話をお願いします。

A 企業経営を取り巻く環境は、いつの時代も変化しています。今の国内の多くのマーケット意識は、アベノミクスと命名された経済政策の推進のもと、期待先行型ですが新たなムードを持って動き始めています。加えて人口減少・少子高齢化など、経営環境の構造変化が確実に進んでいます。こうしたなか、「成長から成熟へ」→「成熟から縮小へ」と経済はシフトし、その結果、マーケットは細分化され、専門化への道を歩み始めていると思います。これをフードサービスの分野で見れば、

「食」という大衆性のなかで専門的な魅力をいかにして表現できるか、に尽きると思います。需要減退に対応する縮小均衡的な発想ではなく、お客様のニーズの変化に対応し、新たな価値という需要を創造していけるのか、私たち自身の発想の起点・行動の起点が重要になってきます。

以下3つの戦略を積極的に推進することで、まずは初年度となる2014年3月期には、売上高254億円、営業利益12億円を実現し、中期経営計画の達成に向けて弾みをつける所存です。

数値目標達成のための具体的戦略

●既存業態のブラッシュアップと新規出店の加速化

今後5年間で180店舗の新規出店を行うとともに、既存店舗への計画的なりニューアル投資を実施。

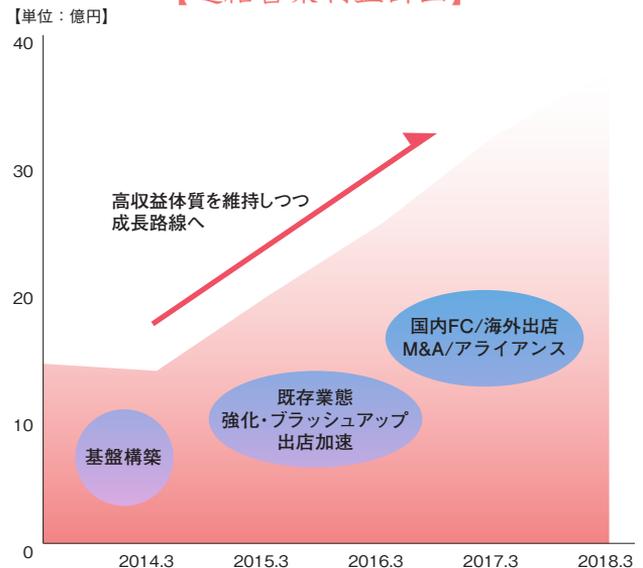
●フランチャイズ店舗の積極的な開発

今後5年間で80店舗の出店を行う。海外にもフランチャイズネットワークを拡大。

●M&Aによる経営資源の強化とドミナント形成の推進

既存業態の競争力強化に資する「立地・人財・ドミナント・ネットワーク」の取得に主眼を置く。

【連結営業利益計画】



Q 最後に、経営理念として掲げている「心が響きあう価値の創造」のもと、目指されているヴィア・グループの将来像についてお聞かせください。

A 今回の中期経営計画では、大胆な変革と脱皮に挑戦することを私たち一人ひとりに求めています。「自らの手で新しい流れをつくり出していける」ことを、私たちはこの2年間で体験し、実践してきました。しかし同時に、「変えてみる」「脱ぎ捨ててみる」という第一歩を踏み出すことが容易でないことも知っています。私たちは、フードサービスのバリュー・リーダーを目指して、一人でも多くのお客様、お取引先様、そして従業員から「チームVIA」「VIAファミリー」と認識していただける信頼関係をベースとした企業と

人のつながりを構築したいと考えています。これこそが、私たちの経営理念である「心が響きあう価値の創造」の具現化にはかならないのです。

私は、今回の中期経営計画を達成することで、お客様の暮らしのなかでの存在感を高めていくこと、そして同時に、次の強い経営基盤となる「ヒト」と「風土」を育て築き上げることができるものと確信しています。高い志と技術を持った業界トップの人財集団をつくり上げることは、私たちヴィア・グループの重要な使命です。

皆様におかれましては、ヴィア・グループの挑戦への決意にご支援を賜りたく、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



グループ会社紹介

ヴィア・グループは、“お客様の満足・笑顔を創りたい”と願う想いをモットーに、喜びと感動に満ちた新しい価値のイノベーションに果敢に取り組んでいます。そして今後も、すべてのお客様の「心のニーズ」に応えることを第一に考えることで、皆様に信頼される企業グループを目指していきます。



備長扇屋 東水元店 錦織店長
何度も来店いただく常連のお客様や、バースデーパーティーを行っていただくファミリーのお客様など、小規模店舗の強みである地域のお客様との強いつながりを大切にしています。地域の集会所のような場所として、お客様に喜んでいただき、スタッフも成長できるお店でありたいと思います。



株式会社 扇屋コーポレーション

「備長扇屋」

OHGIYA
CORPORATION

焼き鳥居酒屋「備長扇屋」、「本陣串や」、「やきとりの八扇」は34都道府県に339店(うちFC店舗78店)を展開しています。一本いっぱん真心をこめて焼上げる焼き鳥と、元気・笑顔・活気をコンセプトとしています。メニューはお一人様からご家族連れのお客様にまで幅広くご満足いただけるように構成されており、地域のニーズに合った店舗づくりを目指しております。業態フォーマットの確立している「備長扇屋」については、当期は新たに12店出店するとともに、店舗リニューアルを実施いたしました。



<http://www.via-hd.co.jp/o-giya/>



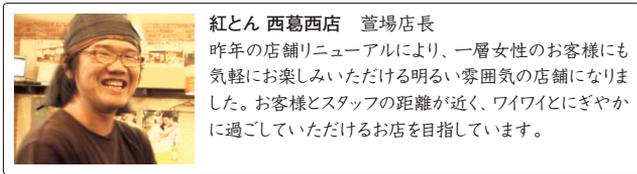


「紅とん」

新鮮和豚の炭焼き専門店「日本橋 紅とん」は都内を中心に32店(うちFC店舗7店)を展開しています。

こだわりの新鮮和豚を、高い技術と炭火で焼き上げるコンセプトの業態で、サラリーマン・OLのお客様を中心に支持をいただいています。また、既存のコンセプトを軸にしながらも、マーケットニーズに合わせたメニューと価格で構成された新しいタイプの「紅とん」も誕生。今後の出店が期待できます。

 http://www.via-hd.co.jp/o-giya/business/beni_ton.php



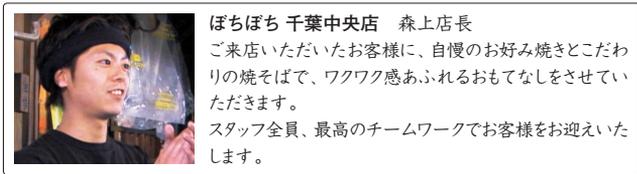
紅とん 西葛西店 萱場店長
 昨年の店舗リニューアルにより、一層女性のお客様にも気軽にお楽しみいただける明るい雰囲気の店舗になりました。お客様とスタッフの距離が近く、ワイワイとにぎやかに過ごしていただけるお店を目指しています。

「ぼちぼち」

大阪下町の味「ぼちぼち」は首都圏を中心に22店展開しています。特注の大鉄板で焼き上げるお好み焼きと、季節の素材を使ったあつあつの鉄板焼きをお楽しみいただけます。

ライブ感とシズル感にあふれる店舗で、高い技術をもったスタッフにより焼き上げられる本場のお好み焼きと、さりげない気遣いのおもてなしで業態競争力を強めています。特製もんじゃ焼きの導入など、よりいっそう魅力的な商品の開発に積極的に取り組んでまいります。

 http://www.via-hd.co.jp/o-giya/business/bochi_bochi.php



ぼちぼち 千葉中央店 森上店長
 ご来店いただいたお客様に、自慢のお好み焼きとこだわりの焼そばで、ワクワク感あふれるおもてなしをさせていただきます。スタッフ全員、最高のチームワークでお客様をお迎えいたします。



BELLA BELLA 北千住店 松下店長

食事をされたい方も飲みたい方も、一緒にお楽しみいただける気軽な雰囲気洋風居酒屋です。本格ピザ釜で焼き上げるピザやこだわりのパスタのほか、ワインをはじめとしたお酒も楽しめます。イタリアンテイストの定番メニューから飲み放題コースまで、幅広いお客様のニーズにお応えいたします。



株式会社 フードリーム

主にショッピングセンター・デパートといった複合施設内の飲食店の展開をしています。

主力業態は、パスタやオムライスを中心とした洋食レストラン「オープン亭」、自家製小籠包と本格中華が気軽に味わえる中華レストラン「虎包」、イタリアン小皿料理を楽しむ洋食居酒屋「BELLA BELLA」など現在74店を展開しています。

当期は収益力、組織力、技術力、商品力のブラッシュアップに取り組んでまいりました。

今後100店舗体制に向け、既存店のさらなる強化と新しい店舗展開に挑戦してまいります。



<http://www.via-hd.co.jp/foodream/>



株式会社 一丁

一丁では、北海道を主として各地の港から旬と鮮度をテーマに海の幸を取り揃えた刺身居酒屋「うおや一丁」を22店(うちFC店舗1店)展開しています。

ICCHO INC.

当期は、マーケットに応じた業態のリモデルに挑戦してまいりました結果、女性のお客様やファミリーのお客様に

よるご利用動機が高まりました。

今期はご利用動機を高めるべく、商品施策の確立とサービス力の強化により、より多くのお客様に選んでいただける店舗を目指してまいります。



<http://www.via-hd.co.jp/iccho/>



一丁 札幌駅店 南店長

「うおや一丁」の発祥の地である北海道で、20年以上の歴史をもった「うおや一丁」の中でも一番歴史のあるお店です。宴会シーズン以外にも、新鮮でお値打ちなメニューをご用意しておりますので、札幌にお出かけの際にはぜひお立ち寄りください。





いちげん 株式会社 一源

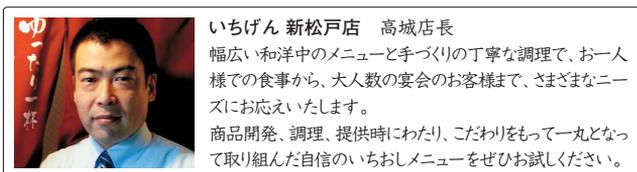
埼玉・千葉・東京の駅前立地を中心に、「食彩厨房 いちげん」と焼き鳥居酒屋「とりげん」、串揚げ居酒屋「串げん」などを28店展開しています。

特に「いちげん」では和・洋・中のバラエティーに富んだメニュー構成と最大100名様に対応可能のお座敷席が好評で、幅広い層のお客様にご利用いただいております。

当期は2店のリニューアルを実施するとともに、戦略商品の開発とオペレーションの強化により収益体質の強化を図ってまいりました。

さらなるオペレーションと商品のブラッシュアップにより、お客様がより「楽しさ」を感じられる店舗となるよう、全社一丸となって取り組んでまいります。

 <http://www.via-hd.co.jp/ichigen/>



いちげん 新松戸店 高城店長

幅広い和洋中のメニューと手づくりの丁寧な調理で、お一人様での食事から、大人数の宴会のお客様まで、さまざまなニーズにお応えいたします。

商品開発、調理、提供時にわたり、こだわりをもって一丸となって取り組んだ自信のいちおしメニューをぜひお試しください。



食の安全・安心管理について

ヴィア・グループは、お客様の安全・安心のために、食材仕入・調理・ご提供のすべてを徹底管理し続けています。

● 仕入食材・原材料の安全基準

ヴィア・グループでは、お客様の安全・安心のために、グループ購買委員会で購入基準を定め、安全を守っています。

- ・トレーサビリティのしっかりしたお取引先を選択しています。
- ・商品規格書で、原材料・成分・製造工程を確認しています。
- ・輸入食品は厚生労働省の基準を満たしているかを確認しています。
- ・主要な食材は、産地、工場の状況を確認しています。

● 発注・配送システム

ヴィア・グループ500店舗以上のサービス・品質を管理するために、最新のITシステムが構築されています。その仕組みの一つに発注システムがあり、いつも新鮮な食材を調理し無駄に捨てることのないように、過去のデータから高精度の販売予測を立て、最適な発注を行います。発注データはお取引先グループと情報連携し、最適なリードタイムで配送を行えるように設計しています。

食材はそれぞれの特性に合わせて、冷凍・冷蔵・常温の3温度帯で管理され、配送車も3温度帯管理をされて、店舗へ納品されます。さらに、食材配送を担当しているお取引先とは定期的にミーティングを持ち、在庫状況、在庫回転率を確認し、品質向上を追求しています。

● 食品衛生委員会

グループの具体的な衛生管理活動を毎月確認しています。行動基準である「グループ食品衛生の手引き」に従って店舗は自主点検を行い、従業員の衛生教育をし、安全・安心を実現します。行動結果をグループ企業で情報共有し、さらに衛生レベルの向上を目指しています。店舗の衛生管理は、日本でも有数の検査機関と契約し、定期的に抜き打ち点検確認をしています。衛生管理行動だけでなく、食材の抜き取り細菌検査、手指の拭き取り検査も実施しています。問題があれば即座に連絡が回り、対策が打たれます。定期的に傾向分析が行われ、グループ食品衛生委員会で活動方針が決められます。

ヴィア・グループのCSR活動

ヒューマン・アース・プロジェクト

ヴィア・グループでは、食の事業を展開する企業として、地球と人の今と未来のために少し工夫してできることをコンセプトとして、ヒューマン・アース・プロジェクトを実施しています。

環境問題、食料問題、健康問題の解決に向けて、店舗でのベジメニューとお持ち帰りの紙バックの推進を行い、それぞれの1個のご注文ごとに10円を、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンを通じて食事に恵まれな
い子供たちの支援として寄付をしています。皆様のご協力により、当期はケニア共和国のナイロビにて第1次支援事業を始動いたしました。今後も様々な支援事業に取り組んでまいります。



(C) Save the Children Japan

復興支援

東日本大震災で被災された方、ご家族、関係者の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。東日本大震災で被災された被災地の復興に向けて、ヴィア・グループでは2011年から10年間ヴィア・グループの店舗をご利用されたお客様1名様につき、1円を寄付するという「私たちにできることプロジェクト2020」を中心に様々な取り組みを行ってまいりました。

特に当期には、オリジナルカレンダーを作成し、カレンダーに添付されている割引券1枚のご利用につき50円の寄付を行うほか、前期に続いて「東日本大震災・復興支援 特別ご優待券」を株主様にお贈りいたしました。



ヒューマン・アース・プロジェクトと東日本大震災復興支援を目的とした様々な取り組みにより、取り組みをはじめてから当期末までの寄付金総額は、グループ累計で60,223,383円になりました。

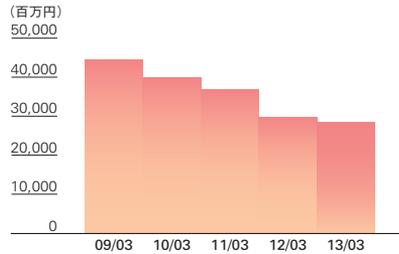
これらの寄付金は、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン及び社団法人日本フードサービス協会を通じ、目的に応じて役立ていただいています。

業績ハイライト

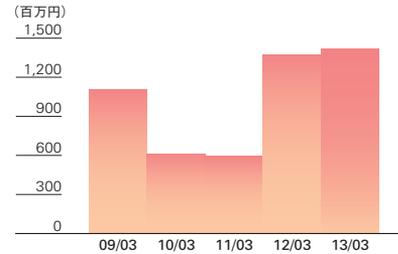
～2期連続で過去最高の営業利益を達成～

- 厳格な出店基準による新規出店、個々のマーケット変化に対応するためのリニューアルなどの店舗オペレーションの付加価値向上などにより、売上高は283億4千8百万円となりました。
- 継続的なコスト削減策として、企業規模を活かした購買単価の見直し、本部コストの低減、店舗労働時間の適正化などにより、営業利益は14億2千万円となりました。
- メニューミックスを中心とした原価低減や店舗段階でのロス・コントロールなど、徹底した損益分岐点の引き下げに取り組んだことなどにより、当期純利益は9億1千3百万円となり、前期にくらべ大幅な増益を達成しました。

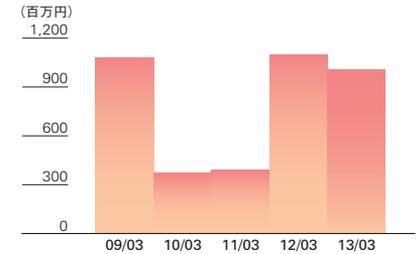
■ 売上高



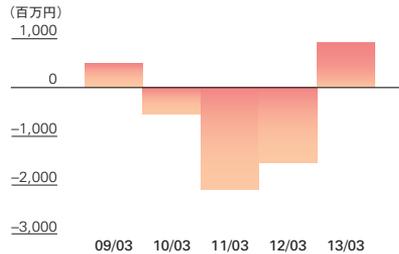
■ 営業利益



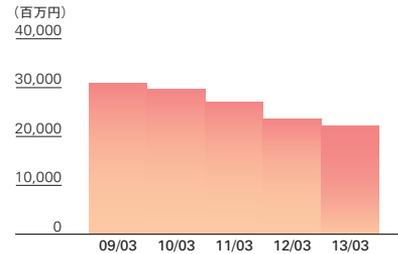
■ 経常利益



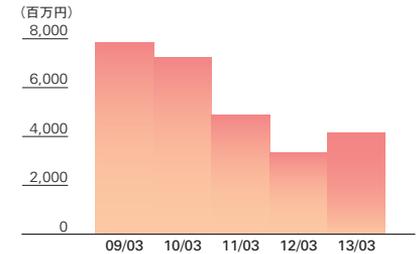
■ 当期純利益(損失)



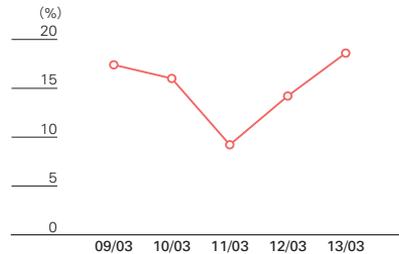
■ 総資産



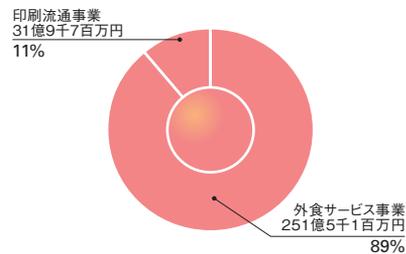
■ 純資産



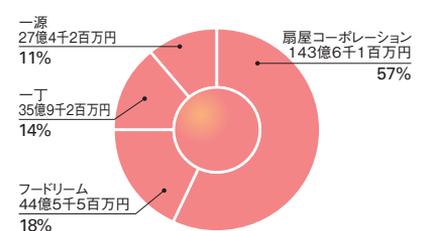
■ 自己資本比率



■ セグメント別売上高比率



■ 外食サービス事業の会社別売上高比率



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末	当期末
	2012年3月31日	2013年3月31日
資産の部		
流動資産	6,057	5,014
固定資産	17,459	17,096
繰延資産	15	10
資産合計	23,531	22,120

科目	前期末	当期末
	2012年3月31日	2013年3月31日
負債の部		
流動負債	6,205	14,728
固定負債	13,985	3,268
負債合計	20,190	17,997
純資産の部		
株主資本	3,483	4,340
その他の包括利益累計額	△142	△217
純資産合計	3,340	4,123
負債純資産合計	23,531	22,120

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2011年4月1日から 2012年3月31日まで	2012年4月1日から 2013年3月31日まで
売上高	29,767	28,348
売上原価	10,675	10,236
売上総利益	19,091	18,112
販売費及び一般管理費	17,716	16,692
営業利益	1,375	1,420
営業外収益	126	108
営業外費用	405	523
経常利益	1,096	1,004
特別利益	620	4
特別損失	3,055	215
税金等調整前当期純利益 (△は損失)	△1,338	793
法人税、住民税及び事業税	88	318
法人税等調整額	113	△438
少数株主損益調整前当期純利益 (△は損失)	△1,539	913
当期純利益(△は損失)	△1,539	913

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2011年4月1日から 2012年3月31日まで	2012年4月1日から 2013年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,580	1,976
投資活動によるキャッシュ・フロー	444	△744
財務活動によるキャッシュ・フロー	566	△2,334
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,591	△1,102
現金及び現金同等物の期首残高	805	4,148
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	△249	—
現金及び現金同等物の期末残高	4,148	3,046

会社概要 CORPORATE IDENTITY コーポレート アイデンティティ



VIA HOLDINGS INC.
株式会社 ヴィア・ホールディングス

シンボルマーク

人類の叡智の結晶「ピラミッド」をモチーフに、「総合力」「結束力」「永遠性」「上昇」「大志」を表現しています。
またシンボルカラーの

V：「ブラック」は「宇宙＝秩序、創造」を、
I：「レッド」は「心＝情熱、思いやり」を、
A：「ブルー」は「水＝生命、知性」を象徴しています。

ネーミング

VIAとは、「Valuable & Imaginative Addition」の頭文字の略称です。直訳すると「価値の高い、創造力に富んだ付加」、言い換えれば「世の中により新しい価値を創造していく」という意味を表しています。

またVIAという言葉は、英語で「～経由で、～を媒介として」という意味を、ラテン語で「道」という意味を持ちます。

これらの意味を合わせて、VIAという社名に「私たち独自の力を通して、世の中により新しい価値を創造し、未来への道を切りひらいていく」という意志を込めています。

GROUP PHILOSOPHY (グループ理念)

心が響き合う価値の創造

- ◆私たちは、卓越した先見力とマネジメント力により、グループ企業の専門力を相互に高め、ノウハウを統合し、革新的なライフカルチャーの創造を推進します。
- ◆私たちは、顧客の「心のニーズ」に応え、喜びと感動に満ちた新しい価値のイノベーションに果敢に取り組みます。
- ◆私たちは、創造力・自立心・情熱を中心とした「人間力」を最も大切な資産と位置づけ、その力が最大限に成長・発揮できる環境をつくります。

GROUP MISSION (グループミッション)

- ◆私たちは、顧客満足の最大化を第一の目的とします。
- ◆私たちは、オープンで公正な企業カルチャーの構築を通して、社員の生きがいや幸せの実現に努めます。
- ◆私たちは、取引先と公正で健全な関係を築き、お互いの大いなる成長を目指します。
- ◆私たちは、偽りのない情報の公開や安心・安全の確保、環境保護への配慮など、確固とした企業倫理を確立し、社会の一員としての責務を果たします。
- ◆私たちは、株主に対する利益還元を増大と、株価の維持、上昇に努めます。

会社概要 (2013年3月31日現在)

商 号 株式会社ヴィア・ホールディングス
VIA HOLDINGS INC.
所在地 〒112-0014
東京都文京区関口1-43-5
新目白ビル4F
TEL: 03-5155-6801
代表者 横川 紀夫
大場 典彦
設立 1948年2月26日
資本金 27.6億円
従業員数 23名

役員 (2013年3月31日現在)

代表取締役会長 横川 紀夫
取締役副会長 三甲野隆優
代表取締役社長 大場 典彦
取締役 佐伯 浩一
取締役 能仁 一朗
取締役 今井 将和
取締役 高田 弘明
常勤監査役 正部 一行
常勤監査役 伊藤 誠
監査役 片桐 正昭
監査役 草野 元昭

当社グループの従業員数

事業の種類	従業員数
外食サービス事業	490名 (2,262名)
印刷流通事業	102名 (24名)
その他	23名 (5名)
合計	615名 (2,291名)

※ 従業員数には、使用人兼務取締役は含まれておりません。
※ 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数 (契約社員、準社員) は1日8時間換算による年間の平均人員を () 外数で記載しております。

株式の状況

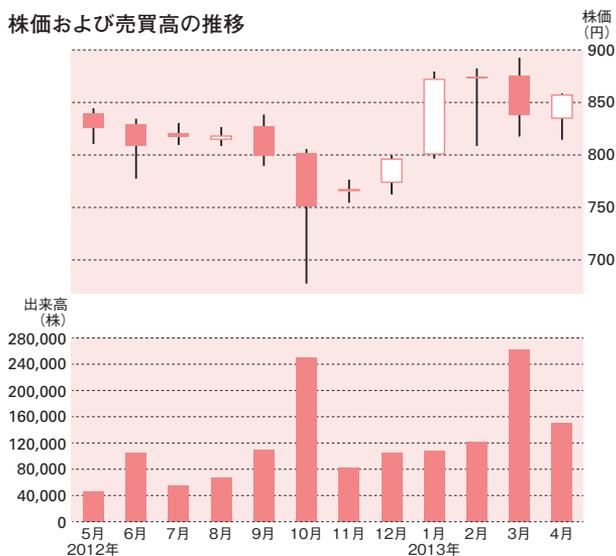
株式の状況(2013年3月31日現在)

発行可能株式総数		80,000,000株
発行済株式の総数	普通株式	24,324,700株 (自己株式2,426株)
	A種優先株式	2,400株
株主数	普通株式	5,835名
	A種優先株式	1名
1単元の株式数		100株

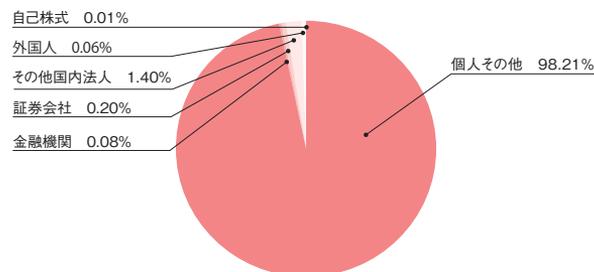
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
横川紀夫	普通株式 3,555,000	14.61
	普通株式 3,192,000	
アサヒビール株式会社	A種優先株式 2,400	
	計 3,194,400	13.13
株式会社J・M・T	普通株式 2,071,800	8.52
株式会社HSM	普通株式 1,879,900	7.73
株式会社W&E	普通株式 1,875,000	7.71
株式会社大光	普通株式 1,199,000	4.93
野村証券株式会社	普通株式 673,600	2.77
株式会社エム・ティ・ケイ	普通株式 664,000	2.73
大関株式会社	普通株式 615,000	2.53
株式会社エス・エイチ・コーポレーション	普通株式 505,200	2.08

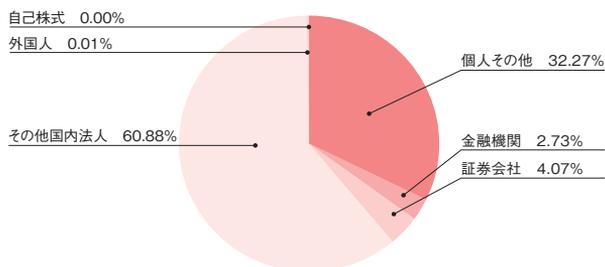
株価および売買高の推移



所有者別株式分布状況



所有数別株式分布状況



	株主数(名)	株主数比率(%)	持株数(株)	株式数比率(%)
個人その他	5,731	98.21	7,850,322	32.27
金融機関	5	0.08	665,800	2.73
証券会社	12	0.20	992,251	4.07
その他国内法人	82	1.40	14,809,800	60.88
外国人	4	0.06	4,101	0.01
自己株式	1	0.01	2,426	0.00

※普通株式分のみ記載しております。

株主メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月開催

基準日

毎年3月末日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めの日。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

 0120-782-031

インターネットホームページURL

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法

当社のホームページに掲載します。

上場証券取引所

大阪証券取引所(JASDAQ市場)

ホームページのご案内

当社ホームページではIR情報のほか、ヴィア・グループに関する最新情報をリアルタイムで公開しております。ぜひご覧ください。

また、モバイルサイトでは店舗検索やポイントキャンペーンなど、お得な情報を満載しております。併せてご利用ください。

株式会社ヴィア・ホールディングス ホームページ

<http://www.via-hd.co.jp>

IR情報

<http://www.via-hd.co.jp/via/ir/>

モバイルサイト MOVIA



新規登録はこちら



QRから空メールを送信

会員の方はこちら



MOVIAマイページへ

株主優待

保有株式数100株以上の株主様に、
ご優待として株主優待券を年2回贈呈しております。
ヴィア・グループが全国で展開するすべての店舗で
ご利用いただけます。

店舗でご利用いただけない株主様につきましては、
株主優待券と交換できる商品をご用意しております。

● 対象となる株主様

各事業年度3月末日および9月末日時点において株主名簿に記載された株主様(年2回)

● ご優待内容

保有株式数1,000株を上限に、100株ごとに優待額を設定
(年2回実施。有効期間は6ヵ月)



保有株式数	株主優待券
100株	2,500円相当の株主優待券 (年間 5,000円相当)
200株	5,000円相当の株主優待券 (年間10,000円相当)
300株	7,500円相当の株主優待券 (年間15,000円相当)
400株	10,000円相当の株主優待券 (年間20,000円相当)
500株	12,500円相当の株主優待券 (年間25,000円相当)
600株	15,000円相当の株主優待券 (年間30,000円相当)
700株	17,500円相当の株主優待券 (年間35,000円相当)
800株	20,000円相当の株主優待券 (年間40,000円相当)
900株	22,500円相当の株主優待券 (年間45,000円相当)
1,000株以上	25,000円相当の株主優待券 (年間50,000円相当)

株主優待券と交換できるウレシイ商品、45アイテム!

お近くに店舗がないなど、お食事券のご利用が難しい株主様のために、株主優待券と交換できる商品を、45アイテムをご用意しております。
(写真は代表的な商品のイメージです。交換商品の内容は別途ご案内いたします。)



 <http://www.via-hd.co.jp/via/ir/preferential.php>

株式会社 ヴィア・ホールディングス

〒112-0014 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F

TEL: 03-5155-6801